

平成 27 年 3 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）

平成 26 年 8 月 15 日

会 社 名 株式会社テクノシステムズ グリーンシート銘柄
 コード番号 2456 本社所在都道府県 神奈川県
 本社所在地 神奈川県大和市中央林間西三丁目 9 番 13 号
 問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役
 氏 名 谷口 光 TEL (046) 278-3650

1. 平成 27 年 3 月期第 1 四半期の業績（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。
 3. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
27 年第 1 四半期	178,273	(△5.1)	△5,942	(—)	△7,948	(—)
26 年第 1 四半期	187,892	(21.4)	3,666	(△18.7)	1,223	(△57.3)

	当 期 純 利 益		1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自 己 資 本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
27 年第 1 四半期	△8,347	(—)	△1,090 05	— —	△15.5	△1.5	△4.5
26 年第 1 四半期	1,145	(△24.6)	149 52	— —	2.5	0.2	0.7

- (注) 1. 期中平均株式数 27 年第 1 四半期 7,658 株 26 年第 1 四半期 7,658 株
 2. 会計処理の方法の変更 有・**無**
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率です。
 4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益は、期中平均株価の算定が困難であるため記載していません。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	千円	千円	%	円	銭
27 年第 1 四半期	529,570	49,786	9.4	6,501	23
26 年第 1 四半期	560,275	47,195	8.4	6,162	89

- (注) 期末発行済株式数 27 年第 1 四半期 7,658 株 26 年第 1 四半期 7,658 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
27年第1四半期	2,526	△6,674	△9,260	19,115
26年第1四半期	432	△7,127	△7,061	10,481

2. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年 間
通 期	760,000千円	17,800千円	16,800千円	—	—	—	0	0

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）2,193円78銭

第 25 期 第 1 四半期報告書

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社テクノシステムズ
 英文名(英文商号) Techno Systems Co.,Ltd.
 コー ド 番 号 2456
 代表者の役職氏名 代表取締役 林 正幸
 本店の所在の場所 神奈川県大和市中央林間西三丁目 9 番 13 号
 電 話 番 号 046-278-3650
 連 絡 者 常務取締役 谷口 光

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

	第 25 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
	自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日
I 売 上 高	178,273	178,273	187,892
II 売 上 原 価	148,870	148,870	154,252
売上総利益	29,403	29,403	33,639
III 販売費及び一般管理費	35,346	35,346	29,973
営業利益又は損失(△)	△5,942	△5,942	3,666
IV 営業外収益	556	556	306
V 営業外費用	2,562	2,562	2,749
経常利益又は損失(△)	△7,948	△7,948	1,223
VI 特別利益	—	—	312
税引前(四半期)当期純利益又は 損失(△)	△7,948	△7,948	1,536
法人税、住民税及び事業税	399	399	391
四半期(当期)純利益又は損失(△)	△8,347	△8,347	1,145

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	第 25 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
	自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日
期 中 平 均 株 式 数	7,658 株	7,658 株	7,658 株
1 株当たり四半期(当期)純利益 又は損失(△)	△1,090 円 05 銭	△1,090 円 05 銭	149 円 52 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株当たり四半期(当期)純利益	—	—	—

※潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益は、期中平均株価の算定が困難であるため記載していません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類 \ 期 別	第 25 期 第 1 四半期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日
テクニカルスタッフ派遣事業	78,704	78,704	89,917
受託開発事業	68,757	68,757	66,350
自社ブランド製品事業	378	378	334
幼児教育事業	30,429	30,429	31,173
健康事業	4	4	117
合 計	178,273	178,273	187,892

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第 24 期末 (平成 26 年 3 月 31 日現在)	第 25 期 第 1 四半期 (平成 26 年 6 月 30 日現在)
(資 産 の 部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	56,226	45,820
2. 営業未収入金	92,991	89,064
3. 未収入金	5,967	5,951
4. 商品及び製品	2,637	2,677
5. 原材料及び貯蔵品	1,393	1,684
6. 前払費用	1,967	1,401
7. 預け金	2,489	2,489
8. その他	155	5,906
9. 貸倒引当金	△436	△436
流動資産合計	163,392	154,561
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物	95,424	94,151
(2) 構築物	5,231	5,049
(3) 車両運搬具	3,097	7,673
(4) 工具器具備品	2,719	2,762
(5) 土地	96,071	96,071
(6) 建設仮勘定	756	4,104
有形固定資産合計	203,299	209,812
2. 無形固定資産		
(1) のれん	13,810	11,877
(2) ソフトウェア	72,011	64,570
(3) その他	373	371
無形固定資産合計	86,195	76,819
3. 投資その他資産		
(1) 出資金	32,339	32,339
(2) 長期貸付金	7,130	7,110
(3) 長期末収入金	6,748	6,748
(4) 長期前払費用	23,522	24,818
(5) 保険積立金	18,620	18,620
(6) 長期預け金	4,139	4,584
(7) その他	4,227	4,271
(8) 貸倒引当金	△10,114	△10,114
投資その他資産合計	86,612	88,377
固定資産合計	376,108	375,009
資産合計	539,500	529,570

(単位：千円)

科 目	期 別	第 24 期末	第 25 期
		(平成 26 年 3 月 31 日現在)	第 1 四半期 (平成 26 年 6 月 30 日現在)
(負 債 の 部)			
I 流 動 負 債			
1. 短 期 借 入 金		121,099	121,581
2. 1年以内返済予定長期借入金		25,008	25,008
3. 未 払 金		18,945	19,793
4. 未 払 費 用		34,236	37,247
5. 未 払 法 人 税 等		1,594	399
6. 未 払 消 費 税 等		11,516	14,238
7. 前 受 金		7,374	815
8. 預 り 金		6,370	9,133
9. そ の 他		—	31
流 動 負 債 合 計		226,145	228,249
II 固 定 負 債			
1. 長 期 借 入 金		213,486	208,512
2. 長 期 未 払 金		41,734	43,022
固 定 負 債 合 計		255,220	251,534
負 債 合 計		481,366	479,784
(純資産の部)			
I 株 主 資 本			
1 資本金		91,248	91,248
2 資本剰余金			
(1)資本準備金		25,748	25,748
3 利益剰余金			
(1)利益準備金		954	954
(2)その他利益剰余金			
繰越利益剰余金		△59,816	△68,163
株主資本合計		58,134	49,786
純資産合計		58,134	49,786
負債・純資産合計		539,500	529,570

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 24 期末	第 25 期
		(平成 26 年 3 月 31 日現在)	第 1 四半期 (平成 26 年 6 月 30 日現在)
発 行 済 株 式 総 数		7,658 株	7,658 株
1 株 当 たり 純 資 産 額		7,591 円 28 銭	6,501 円 23 銭

(4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項目	株主資本				株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
平成26年4月1日残高	91,248	25,748	954	△59,816	58,134	58,134
第1四半期中の変動額						
四半期純損失(△)	—	—	—	△8,347	△8,347	△8,347
第1四半期中の変動額合計	—	—	—	△8,347	△8,347	△8,347
平成26年6月30日残高	91,248	25,748	954	△68,163	49,786	49,786

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5 経理の状況 重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 消費税等の処理方法	仮払消費税等と仮受消費税等を相殺し、未払消費税等として表示しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準	法人税、住民税及び事業税は、税引前四半期純利益に年間の見積実効税率を乗じた金額を計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第25期 第1四半期（平成26年4月1日から平成26年6月30日）の業績の概況
 テクニカルスタッフ派遣事業及び受託開発事業については、前事業年度末に通信関係（無線基地局等）及び自動車関係（カーナビ等）の作業の一部が終了し、当四半期は一時的に待機技術者が増加したことにより売上高は両事業合わせて前年同期に比べて減少しました。（前年同期比94.4%）

当四半期末から通信・自動車関係の案件が再び増え、また新たな交通関係の受注も増えてきていますが、顧客の要求に適合する技術者の確保が課題になり対応が不十分な状況が続いています。

この状況に対処するために、各事業所及び全国の公的サービスもフル活用して募集を行い、また初心者に対する実務研修や技術講座の実施にも注力したことにより、徐々に顧客の要求に近い人材が増えており、今後の売上回復の基盤が整ってきました。

幼児教育事業に関しては、幼稚園は当事業年度初めから例年と同様に定員一杯の状態ですが、保育園は年度初めに他の公立園や認可園へ移る児童が前年同期より多く、一時的に園児が減少しましたが、当四半期後半から定員一杯の状態に回復しました。

このために幼児教育事業全体では、売上高は前年同期比97.6%となりました。

自社ブランド製品事業及び健康関連事業については、主力事業であるテクニカルスタッフ派遣事業及び受託開発事業の業績回復を優先し、両事業分野へ経営資源を優先投入しているために、両事業合わせて前年同期比84.8%となりました。

また、平成27年4月開園を計画しています認可保育園のため要員（管理者及び保育士）を当四半期初めから採用して開設準備を行っていること及び前事業年度の業績回復貢献に応えるために、前年度以上の昇給と賞与支給を行ったことにより、経費が増加しています。

この結果、当四半期につきましては、売上高178,273千円（前年同期比94.9%）、営業損失5,942千円（前年同期営業利益3,666千円）、経常損失7,948千円（前年同期経常利益1,223千円）、四半期純損失8,347千円（前年同期純利益1,145千円）となりました。

III 第25期通期の売上高及び利益の予測について （単位：千円）

科 目	期 別	第24期（実績）	第25期（予想）
		〔自 平成25年4月1日〕 〔至 平成26年3月31日〕	〔自 平成26年4月1日〕 〔至 平成27年3月31日〕
売上高		752,456	760,000
営業利益		21,512	24,500
経常利益		14,359	17,800
当期純利益		12,083	16,800

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 25 期 第 1 四半期
		自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日
現金及び預金の増減額		△10,405
現金及び預金の四半期首残高		56,226
現金及び預金の四半期末残高		45,820

(主な増減理由)

売上入金による増加と借入金返済、保育園の設備改修費用等との相殺による減少です。

(2) 短期借入金が増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 25 期 第 1 四半期
		自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日
短期借入金の増減額		481
短期借入金の四半期首残高		121,099
短期借入金の四半期末残高		121,581

(主な増減理由)

当座借越による増加と借入金返済との相殺による増加です。

(3) 長期借入金が増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 25 期 第 1 四半期
		自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日
長期借入金の増減額		△4,974
長期借入金の四半期首残高		238,494
長期借入金の四半期末残高		233,520

(主な増減理由)

借入金返済による減少です。

(注) 長期借入金には1年以内返済予定長期借入金を含んでおります。

V その他

該当ありません。